社会資本総合整備計画（地域住宅支援）事後評価書

旭川市中心市街地における都市機能と生活環境の充実

北海道旭川市

平成28年12月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）事後評価書

平成28年12月22日

計画の名称	旭川市中心市街地における都市機能と生活環境の充実		
計画の期間	平成22年度　～　平成27年度　（6年間）	交付対象	旭川市

計画の目標

都市機能の集積及びまちなか居住の推進により，中心市街地の活性化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

中心市街地に訪れる人を128,222人/日から145,000人/日に増加
中心市街地に住む人を10,619人から11,144人に増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H22当初）	中間目標値（H24末）	最終目標値（H27末）	備考
平和通買物公園における歩行者交通量 （平和通買物公園における歩行者交通量（金・土・日曜日）の調査（平均値）による）	128,222人/日	－	145,000人/日	※中間目標は任意
旭川市中心市街地活性化基本計画に定める中心商店街地区及び神楽地区の人口 （住民基本台帳における旭川市の集計結果による）	10,619人	－	11,144人	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	219百万円	A	219百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

旭川市中心市街地活性化基本計画のフォローアップとして旭川市で実施

事後評価の実施時期

H28年3月

公表の方法

旭川市公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1-A1-1	住宅	一般	旭川市	間接	民間企業	宮下８地区優良建築物等整備事業	ホテル，店舗 【補助対象】機械式駐車場,公開空地 地区面積　0.37ha							140	
1-A1-2	住宅	一般	旭川市	間接	民間企業	神楽４・４地区優良建築物等整備事業	共同住宅，テナント 【補助対象】共同住宅共用部，公開空地等 地区面積　0.28ha							79	
										合計				219	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
												合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
												合計				0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

（参考）関連事業

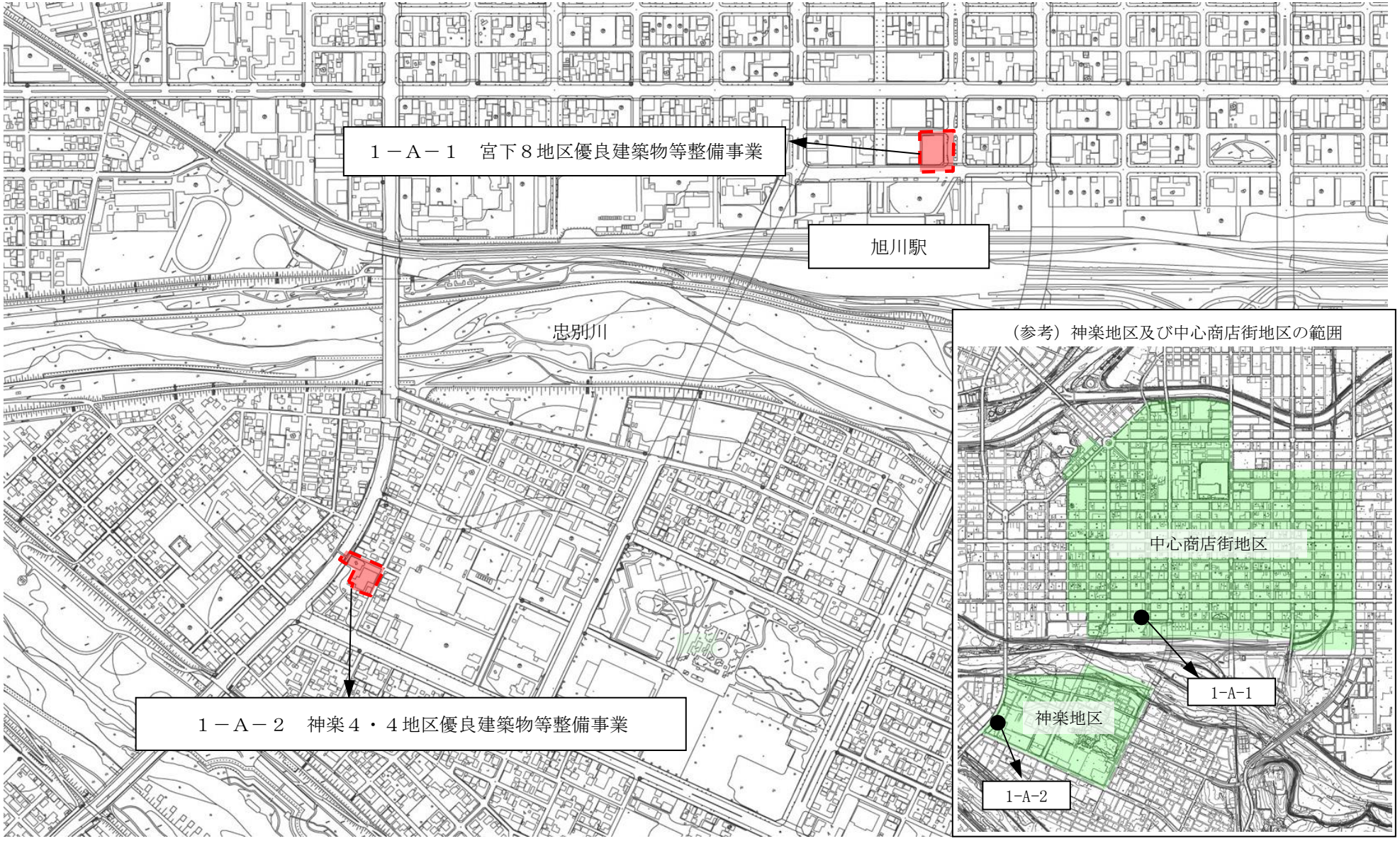
番号	事業	事業主体	備考
1	旭川鉄道高架事業	北海道，旭川市，ＪＲ北海道	延長 3.5km，新駅舎整備
2	公営住宅等整備事業	旭川市	公営住宅の整備　97戸，子育て支援施設等

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ　定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	本計画の基幹事業である共同住宅は平成25年8月に完成し，新たに36戸の住宅が供給されたことにより，まちなか居住の推進に寄与している。また，ホテルと店舗の複合施設は平成28年3月にオープンし，平和通買物公園の歩行者通行量の増加や中心市街地に立ち寄る観光客の増加に寄与している。				
Ⅱ　定量的指標の達成状況	指標① 平和通買物公園における歩行者交通量	最終目標値	145,000人/日	目標値と実績値に差が出た要因	定量的指数としては，平和通買物公園における歩行者交通量を設定した。 北彩都ガーデンのオープンや駅と直結する大型商業施設の開業などの効果により，旭川駅周辺部では賑わいが生まれているが，最終目標値である145,000人/日には至らなかった。 平和通買物公園における歩行者交通量 H22：128,222人/日　H23：118,074人/日　H24：101,121人/日　H25：136,141人/日　H26：117,591人/日　H27：111,893人/日 歩行者交通量が最終目標値を下回った要因としては，旭川駅周辺部では賑わいが生まれているが，大型商業施設の出入口周辺が調査地点になっていないことや，北彩都ガーデンにおいても調査地点から離れていることから，その効果を実績値に反映できていないこと，また，駅周辺部の新たな賑わいがまだ中心市街地全体に波及していないことが考えられる。
		最終実績値	111,893人/日		
	指標② 旭川市中心市街地活性化基本計画に定める中心商店街地区及び神楽地区の人口	最終目標値	11,144人	目標値と実績値に差が出た要因	定量的指数としては，中心市街地のうち，中心商店街地区及び神楽地区の居住人口を設定した。 民間住宅建設の誘導や公営住宅の整備により居住人口は増加しており，中心市街地に回帰する傾向が見受けられるが，最終目標値である11,144人には至らず，295人の増加にとどまった。 旭川市中心市街地活性化基本計画に定める中心商店街地区及び神楽地区の人口 H22：10,619人　H23：10,678人　H24：10,761人　H25：10,881人　H26：10,858人　H27：10,914人 居住人口は増加しているものの最終目標値を下回った要因としては，対象地区外の隣接地周辺において民間マンションの建設が進んだことが考えられる。なお，平成28年度に供用を開始する市営住宅53戸を含めると概ね目標値になる。 旭川市中心市街地活性化基本計画に定める北彩都あさひかわ地区の人口増加 H22：－　H23：2人　H24：19人　H25：31人　H26：75人　H27：111人
		最終実績値	10,914人		
Ⅲ　定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	中心市街地に立ち寄る観光客の指標となる旭川駅の旭川市観光情報センター利用者数は，平成20年度の50,922人から平成27年度では72,483人に増加し，中心市街地活性化基本計画の目標地である60,000人を達成しており，本計画により実施した事業についても中心市街地の活性化に寄与している。				

３．特記事項（今後の方針等）

駅周辺部の新たな賑わいが買物公園や中心市街地全体に広がるように，これまで整備したハードの活用や来街者が中心部を回遊する取組を官民が連携し継続する。
また，本事業による施設や市営住宅の入居，併設された子育て支援施設による呼び水効果を生かしながら，買物公園４条以北を含む中心商店街地区への居住者の増加を目指していく。

（参考図面）地域住宅支援

計画の名称	旭川市中心市街地における都市機能と生活環境の充実		
計画の期間	平成22年度　～　平成27年度　（6年間）	交付対象	旭川市